

日時：平成21年7月10日 10:30～11:30
会場：愛知県自治センター4F大会議室

木曽川水系連絡導水路に係る三県一市副知事・副市長会議

会議次第

開会挨拶 中部地方整備局長

議題

1. 名古屋市より状況説明
2. 意見交換
3. その他

閉会挨拶 水機構中部支社長

木曾川水系連絡導水路に係る三県一市副知事・副市長会議

出席者

岐 阜 県 副 知 事	にしどう 西 藤	こうじ 公 司
愛 知 県 副 知 事	にじむら 西 村	まこと 真
三 重 県 副 知 事	えばた 江 畑	けんじ 賢 治
名 古 屋 市 副 市 長	やまだ 山 田	まさお 雅 雄
中部地方整備局 局 長	さとう 佐 藤	なおよし 直 良
	やまね 山 根	なおゆき 尚 之
水資源機構中部支社 支 社 長	まるやま 丸 山	かずひこ 和 彦

木曽川水系連絡導水路に係る三県一市副知事・副市長会議 配席図
日 時：平成21年7月10日（金） 10：30～11：30
場 所：愛知県自治センター4F大会議室

水資源機構
中部支社
支社長

国土交通省
中部地方整備局
局長

岐阜県
副知事

愛知県
副知事

三重県
副知事

名古屋市
副市長

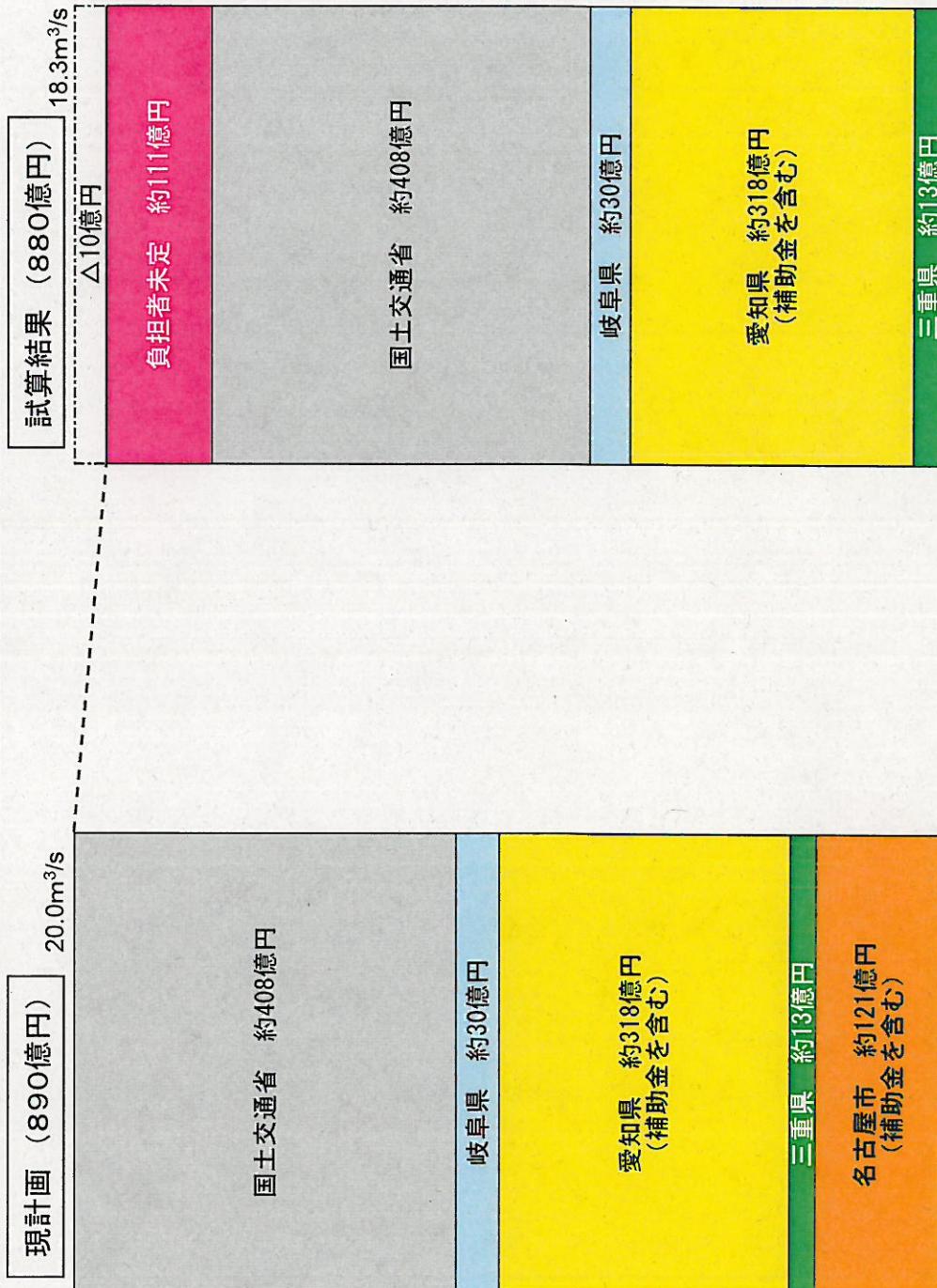
国土交通省
中部地方整備局
河川部長

出入口

名古屋市が撤退した場合の概算の事業費等の試算

資料一
1

- ◆最終的な負担金の試算は、三県一市が合意できる内容を勘案した上で、法律の定めに基づき行う必要がある。
- ◆今は、事業監理検討会での意見を踏まえて、国土交通省・水資源機構が事業費等の試算を行った。
- ◆事業費は、約10億円の減となった。
- ◆国・三県の新たな負担が生じないことを前提として試算をした場合、負担者が未定の概算額は約111億円となつた。



※施設計画は、現計画から名古屋市の利水分のみ除いた計画としている。
※簡便な方法により概算の事業費を試算したものであり、今後変化するものである。

導水路事業監理検討会での三県の意見を踏まえた、今後の渇水調整のあり方

- ① 導水路の完成によって実施が可能となり、各県がご等しく恩恵を受けることができる水系総合運用に対して、名古屋市がどのように関わるのかについて、調整が必要である。
- ② 平成6年の渇水において、岩屋ダム等が枯渇し、本来はダムを水源とする水利権者は取水不能となるが、木曽川水系緊急水利調整協議会による調整で、発電ダムからの緊急放流や自流による農水の既得水利権の節水等により、ダムに代わる補給が受けられた。しかし、上水35%、工水・農水65%の厳しい節水となつた。
名古屋市では自流による水利権も一部節水が行われ、岩屋ダムに代わる補給により、大規模な断水等の被害は生じなかつた。
- ③ 今後、厳しい渇水になつた場合、木曽川水系緊急水利調整協議会として、互譲の精神に基づき、自流による既得水利権に対しても、他の水利権と同様に節水を要請する。
- ④ 厳しい渇水時に、利水者間で水融通を行う場合においても、その影響は他の利水関係者にも及ぶと考えられることから、実施にあたつては、木曽川水系緊急水利調整協議会を開催する等により、関係利水者全ての合意形成を図る必要がある。

水系総合運用について

- 導水路完成後ににおける木曽川水系の利水運用については、導水路の計画検討と並行して行われてきた。第7回導水路検討会においても、木曽川水系における水資源開発施設を効率的に運用する水系総合運用の必要性と他の利水関係者も含めた場で検討していくことが確認されている。
- この水系総合運用は、三県一市がフルプランに基づいて必要な水資源開発施設をそれぞれ整備することを前提に、各県市が等しく恩恵を受けることとしており、この運用により木曽川上流ダム群の枯渇がおおむね解消され、渇水による社会経済活動への影響はほぼ解決されると試算されている。

■「基本的に木曽川には余分な水はない」と言うのが木曽川の水利利用者の総意。

■そもそも今回の「社会実験」の目的は、清浄な流水を導水することによる浄化効果を検証することにより新規水源の確保や、負荷量の削減等を内容とする今後の堀川浄化計画策定につなげる基礎資料にするためとしているもので、将来的な導水元水源を特定するために実験を行っているものではない。

■「社会実験」の水源を木曽川としているのは、名古屋市が木曽川自流のみに頼ることなく、徳山ダムや導水路などへの参画などの不斬の努力により、結果として木曽川の流況が改善され木曽川の流況を痛めないで導水する可能性もあるということが前提となっている。

■こうした前提の下、3年間の「社会実験」という位置づけに限り、関係県、漁組等に繰り返し説明をし、実施したものである。

■これまでの経緯を踏まえ、今後、水源地域をはじめ関係者の考え方を踏まえて、広く意見を聞いて検討する必要がある。